

鳥取学生赤十字奉仕団員がレクリエーションを研修

鳥取学生赤十字奉仕団(委員長 新居陽太、団員数 64名)は、10月12日(土)、鳥取市立湖山西地区公民館(鳥取市湖山町西1丁目 512、学習交流センター鳥取)にて昨年に続き、同団OGで広島県在住の井上稚菜(小学校教諭)さんを講師に招いてレクリエーションリーダー研修を行いました。



【井上稚菜 講師】



【講義の様子】

児童福祉施設などの各種イベントのアイスブレイキングをはじめ、災害時における被災地での後方支援やなど多様化するボランティアのニーズに対応することを目的に団員の入れ代わりが定まったことを機に昨年につづき計画をいたしました。

冒頭、井上講師からレクリエーションのリーダーとしての心構えや進め方の講義を受けました。また、汗だくになりながらの講師の実演の後、準備されたレクリエーションの方法を受講者が自ら考え、皆の前で実践するなどの日程で行われました。



【井上講師の熱のこもった指導風景】

参加者からは、「資料の準備から実践を交えたレクリエーション指導は、とても分かり易く、これからのイベント参加にとっても参考になりました。」、「今年で二回目のレクリエーション研修は、初め少し緊張していましたが、楽しいレクと井上さんの進行によりとても楽しく研修を終えることができました。実際にレクを体験してみることで、どのようにしたら楽しく進行できるのかを理解しやすく打ち合わせ期間の短いイベントなどにつなげることができそうです。レクの進

行はまだごちないですが、この研修で得たことを活かしていきたいです。」などの感想が寄せられ、皆が一体となってレクリエーション習得がなされた様子が伝わってきました。

講師の井上さんは、「まずは、プライドを脱ぎ捨てて臨み、笑顔とメリハリや抑揚や間を大切に話術で相手をひきつけることが大切。」「こころを込めて接する」などのアドバイスをしていました。参加団員は直ぐに雰囲気に取り込まれ、会場は笑い声と時折真剣な面持ちで動きの確認を行いました。



【実技研修風景】

記事：鳥取学生赤十字奉仕団